

阿木小だより



「節目」を大切に ～101日間の前期が終わりました～

本日で前期が終わりました。保護者の皆様には、コロナ禍での教育活動に、ご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

本日、終業式で、次のような話をしました。



今日は「前期」の終業式です。前期を終えて、後期を迎えるこの時期を「節目」といいます。

この竹を見てください。長いですね。でも、まっすぐ、しっかり、かっこよく伸びていっています。どうしてでしょう。竹には、「節」があるからです。ここがあるので、簡単に曲がったり折れたりすることなく、強く真っ直ぐ育っています。

私たちの生活の中には、今日のように、学期が変わるときや次の学年に上がる時、次の学校へ進学するときのように、次のステージを迎えるタイミングがあります。その時のことを、この竹の節になぞらえて「節目」といい、大切にします。

先ほど話したように、竹は、この節があることで、上へ上へと真っ直ぐ伸びていきます。この節が上の部分をしっかり支えています。人も同じです。人は、真っ直ぐ、上へ上へと伸びていく力をもっています。ぐんぐん伸びる力をもっているからこそ、倒れないように、それをしっかり支えるものがが必要です。それが「節目」です。みなさんが丈夫で、たくましく、まっすぐ伸びていくために、「節目」はとっても大事になります。

では、上をしっかり支える節目にするために、どうすればいいのでしょうか。

前期は101日間ありました。とっても多くの時間、みなさんは、「あったかほかほかあぎっ子」「キラキラかがやくあぎっ子」を目指して、頑張ってきました。「これができるようになったよ!」「こんなふうに何度もチャレンジしたよ!」と中身は一人一人違いますが、みなさんは素敵な宝物をつくってきました。大事なのは、その宝物をしっかり自分で確かめて、自分のものにすることです。皆さんは、もう宝物を確かめることができましたか? まだの人は、今日のうちにしっかり確かめて欲しいと思います。きっとたくさんあります。なかなか思い浮かばなかったら、担任の先生やお家の人に聞いてみましょう。「僕の宝物って何だろう」と。絶対思い出させてくれます。それが確かめられると、「自信」がもてます。この「自信」が、これからみなさんがまっすぐ、ぐんぐん伸びるための力になります。

さて、明日から「後期」です。前期の宝物をもって、新たなスタートです。

前期と同じように、「あったかほかほかあぎっ子」と「キラキラかがやくあぎっ子」を目指しましょう。そして、新しい取組です。後期は、毎日、「朝の会」で一人一人がめあてを立て、「帰りの会」でそれについて振り返ることを大事にしましょう。「自分」をしっかりもつためです。

担任の先生には、お願いがしてあります。初めは、自分でめあてを立てることは、難しいかもしれませんが、続けるとできるようになります。「何を、どのように頑張る」をできるだけ具体的に決め、素敵な毎日にしていきましょう。それでは、お話を終わります。

今年度は、4月に教育活動をスタートさせることができましたが、前期は、新型コロナウイルス感染症の全国的な広がりにより、緊急事態宣言、そして、まん延防止等重点措置の適応があり、行事や校外学習、地域の方とふれあう活動を延期せざるを得ませんでした。そのような中、子どもたちは、自分や仲間の命を守るために「何ができるか」「今どうすればいいか」をたくさん考える機会がたくさんありました。もちろん我慢もあったと思いますが、子どもたちなりにしっかり受けとめて行動する姿は、すばらしいものでした。

さて、一人一人創ってきた宝物はたくさんあります。今日、「子どもの姿」を持ち帰っていますので、それをお子さんと一緒に見ながら、何が頑張れたかを聞き、その上で子どもたちを大いにほめていただきたいと思います。きっと、明日からのエネルギーになることと思います。どうぞ、よろしくお祈りします。



《前期に頑張ったこと》 一終業式での発表より一

【2年 しんばる こうた さん】

私が前期にがんばったことは、二つあります。
一つ目は、ひっ算です。はじめは計算がきらいでした。けれど、学校で毎日れんしゅうしていたら、問だいがすらすらとけるようになりました。今は、自学でたくさんれんしゅうをしています。大へんだけど、もっと計算がはやくになりたいので、これからもがんばって問だいをときたいです。
二つ目は、かん字です。さいしょはわからないかん字ばかりでした。でも、かん字スキルでれんしゅうしたのでわかるかん字がふえてきました。これからも、かん字をたくさんおぼえて、はやくていねいに書けるようにしたいです。
後きも、計算ドリルやかん字スキルでたくさんれんしゅうして、あたらしいかん字をおぼえたり、九九をかんぺきにしたりしたいです。

【3年 鈴木 菜月 さん】

私が前期にがんばったことは、三つあります。
一つ目は、算数の授業で、クロームブックを使ったことです。「先生質問」で問題を一人でとけたからうれしかったです。
二つ目は、国語のテストです。漢字のテストで、100点をとれるようにプリントを何回もやったり、ノートにまちがえた漢字を何度もやったりするなどしました。その結果、100点をとることができました。とてもうれしかったです。
三つ目は、めあてをまもることです。「しゃべらず並ぶ」や「マスクをしないで話さない」、「グーペタピンのきれいなしせい」、「話している人の顔を見て聞く」などをがんばりました。みんなで協力してめあてを達成することができたのでとてもうれしかったです。
これからも、みんなでたくさん協力して、「えがお」になれるようにがんばりたいです。

【6年 石田 杏夏 さん】

私が前期にがんばったことは、三つあります。
一つ目は、保健委員会の当番の仕事を忘れずやることです。前にやっていた委員会では、当番の仕事を忘れることがありました。だから、当番の仕事を忘れずにやることを心がけました。すると、一回も当番の仕事を忘れずにやることができました。
二つ目は、毎日自分勉強をすることです。五年生の時は、自分勉強をあまりやっていませんでした。だから、六年生では、自分勉強をできるだけするようにしました。自分勉強をがんばったおかげで、ケド・カドの三回目がほとんど終わりました。
三つ目は、授業でできるだけ挙手発言をすることです。六年生になって最初の頃は、授業であまり挙手発言をしていませんでした。今は、分かるところは挙手して、挙手の回数を増やしています。後期は、さらに積極的に挙手をしたいです。
前期は、がんばったことが三つあったので、後期はがんばったことがさらに増えるといいです。また、なるべく外へ行って遊びたいと思います。



後期の教育活動にご理解とご協力をお願いします

10月1日の緊急事態宣言の解除を受け、学校は、ようやく行事等の実施が可能になりました。延期した行事の一つに「運動会」があります。例年、夏休みが明けると一気に運動会ムードが高まり、暑い中、連日練習をしてきていましたが、今年度はそれができませんでした。既に学校や学年の行事が目白押しの10月に、さらに運動会を入れることは、取組をする上で非常に厳しい状況でしたが、取組を通して子どもたちに付けて欲しい力もあります。そこで、実施する方向で何ができるか、どうできるかを職員で考え、運動会の形や種目、当日までの取り組み方を検討してきました。今年度は「競技2種目・2時間」で実施します。この決定について「もう少し長く」を願う保護者の方からのご意見もいただき、真摯に受けとめております。ありがとうございます。しかし、社会見学を11月に延期しても“取組期間が3週間である”こと、“運動会一点集中の取組ができない”こと、“継続して感染対策が求められている”ことで、今年度は、これ以上の内容や時間はやはり厳しいと考えています。その中で、子どもたちが充実感を味わえるよう、職員一同、精一杯努めたいと思っておりますので、ご理解よろしくをお願いします。演技については、2月の授業参観で披露できるよう取り組む予定です。

最後に、運動会に限らず、今年度の行事は「例年どおり」にならないことが多くあります。学校としては、一つ一つの行事について、【何を学ぶのか、どう学ぶのか】をきちんと吟味し、実施の内容や方法等を考えていきたいと思っています。引き続き、ご理解、ご協力をお願いします。